

## 記念講演「越境する音楽」について

ピーター・バラカン氏による記念講演「越境する音楽」では、音楽における越境性と複合性の歴史について、音楽や映像を駆使して分かりやすくお伝えします。ポピュラー音楽の道のは、美術の歴史、そして本学が目指す「新しい芸術領域の創造・挑戦」と重なるものです。

## 【概要】

レコードというものが発明された 100 年以上前から、ポピュラー音楽はそれが作られた地域から様々なところに運ばれながら越境を続けてきました。テクノロジーの発達とともにそのプロセスが加速し、今は瞬時に全世界に向けて発信することが可能です。見知らぬところからの新たな刺激に触れたミュージシャンはそれを自分のフィルターにかけて、また次の越境が続いていきます。実際に音楽を聴き、画像も見ながらそのプロセスの一部をお伝えします。

## 【ピーター・バラカン氏のプロフィール】



1951 年ロンドン生まれ。

ロンドン大学日本語学科を卒業後、1974 年に音楽出版社の著作権業務に就くため来日。

現在フリーのブロードキャスターとして活動、「バラカン・ビート」（インター FM）、「ウィークエンド・サンシャイン」（NHK-FM）、「ライフスタイル・ミュージアム」（東京 FM）、「ジャパノロジー・プラス」（NHK BS1）などを担当している。

著書に『ピーター・バラカン式英語発音ルール』（駒草出版）、『Taking Stock どうしても手放せない 21 世紀の愛聴盤』（駒草出版）、『ロックの英詞を読む〜世界を変える歌』（集英社インターナショナル）、『わが青春のサウンドトラック』（光文社文庫）、『ピーター・バラカン音楽日記』（集英社インターナショナル）、『魂（ソウル）のゆくえ』（アルテスパブリッシング）、『ラジオのこちら側』（岩波新書、電子書籍だけ）、『ぼくが愛するロック 名盤 240』（講談社+α 文庫、電子書籍だけ）などがある。

2014 年から小規模の都市型音楽フェスティバル Live Magic

(<https://www.livemagic.jp/>)、そして 2021 年から Peter Barakan's Music Film Festival (<https://pbmff.jp/>) のキュレーターを務める。

ウェブサイトは <https://peterbarakan.net/>